

行政機能再配置をめぐるこれまでの検討のながれ

【現状の問題点】
ア 本庁舎のスペース不足に伴う幸町本庁舎と大手通周辺分室等の分散
イ 防災拠点としての本庁舎の耐震性の不安
ウ 交通利便性向上の必要性
エ 中央公民館、科学博物館等の老朽化、狭隘への対応

【その他背景①】
市民のニーズを的確に捉え、最適な政策を市民と協働で形成するための、対話機能の強化の必要性

【その他背景②】
中心市街地構造改革会議の提言「公共機能のまちなか回帰等による中心市街地の活性化を」

【その他背景③】
厚生会館地区整備と再配置を合わせることによる、国庫補助活用のチャンス

① どのような位置へ再配置することが適切か
② どのようなパターンで再配置することが適切か

検討の「ポイント」

市域のどこからもバスなどで行きやすい便利な市役所や施設の配置を

市民との対話や、市民サービス向上を重視した組織配置を

既存の空ビルや国の補助金の活用、不要となった土地の売却などによる徹底的な儉約を

これまでの検討事項
●長岡操車場地区への再配置
●支所庁舎への再配置
●中心市街地における駐車場の対応
●機能の分類、規模及び配置パターンの考え方